

A photograph of two children, a boy on the left and a girl on the right, both wearing white face masks. They are standing behind a table where a stack of five instant noodle cups is placed. The cups are stacked on top of each other, with the top cup being the most prominent. The background is slightly blurred, showing other people in the distance. The entire image has a red tint.

よさみフェア・チルドレン
YOSAMI FAIR CHILDREN
-Children's activity report-



未来のために。

地域のために

子どものために





よさみフェア・チルドレン

よさみフェアチルドレンは、将来を担う子どもたちが、地域の人とのふれあいによって、豊かな人間性や社会性を身につけること、また子育て家庭が地域で孤立することなく、支え合いの中で子育てができるようにすることを目的として、地域における子どもの居場所事業に取り組んでいます。



01. 学びスペース(学習・体験・食育)



子どもの教育を地域で支える

「学びスペース」は、子どもたちが安心していきいきと過ごし、環境等に左右されることなく、学びの機会を得られる場所です。学習支援だけでなく、体験学習や食育の場を提供することで、多様な学びを得られるようにしています。2019年5月の開始以降、毎週火曜日の放課後に毎回大学生や地域のボランティアの方々にサポートしていただきながら運営しています。様々な学びや交流を通して、子どもたちは学習習慣、社会性、自主性を身につけ、日々成長しています。



CHAPTER

01.1 学習支援

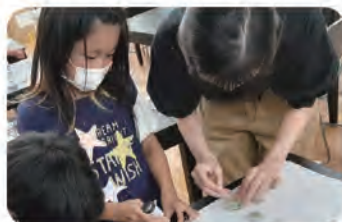
各自で学校の宿題に取り組んでもらうほか、各自の関心に応じた教材を提供しています。大学生ボランティアの協力により、分からない問題の解き方を教えたり、個々の学習状況に合わせた授業内容の復習・予習をサポートしたりしています。また、近年はタブレット等を使用した教材も導入し、理解を深められるようにしています。



CHAPTER

01.2 体験学習

勉強した後は、体験学習を実施しています。工作や季節のイベント、外国人との交流など幅広くチャレンジしています。また、新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、手洗い講習や衛生学習にも取り組んできました。一緒に多様な体験をすることを通して、子どもたちは主体性・協調性・自己肯定感を身につけています。



CHAPTER

01.3 食育

学習を終えたら、全員一緒に晩御飯を食べます。毎回多彩なレパートリーに、子どもたちは楽しみにしています。栄養バランスや食習慣の見直しなど、食への関心の向上を図っています。また、共食（準備から後片付けまでのプロセス）を通じて、みんなで食べる楽しみを感じてもらい、孤食の防止につなげています。





子どもの食育を地域で支える

「あゆみの広場」は、子どもが一人でも安心していける食堂です。子どもの居場所づくり、孤食防止を支援することを目的として2016年から開催しています。毎回数名の大学生や地域のボランティアの方々にサポートいただきながら運営しています。小中学生であれば予約や登録なしに参加できるので、毎回参加している子どもたちが新しい友達を連れてくることで、子ども食堂を訪れる人数は増加しており、地域と子どもがつながる場になっています。





子どもの社会・文化・自然体験を地域で支える

子どもたちが「自分の目で見て、自分の手で触れ、自分でやってみること」を基本に考え、自立心を育み、心身ともに健やかに成長してゆくことができるよう、様々な体験を提供しています。

- ・「子ども夏祭り」「あさかで祭り」：地域に暮らす様々な住民と交流する
- ・「和太鼓教室」：地域の伝統文化を通して、健康的な体づくり・礼儀作法・協調性・向上心・表現力を習得する
- ・「農業キャンプ」：農業体験を通じ、生産者の苦労や自然の尊さ、食べ物の有難さを知るなど



04. 子ども家庭支援（物品バンク・フードパントリー）



子育て世帯を地域で支える

「物品バンク」は、子どもの成長により使わなくなった子ども用品を寄付していただき、必要としているご家庭に提供する取り組みです。子育て世帯を支援するとともに、ごみの削減・リユースにつなげています。

「フードパントリー」は、支援団体から寄付いただいた食料を子育て世帯に提供する取り組みです。新型コロナウイルス感染症の感染拡大下で、子育て家庭の負担を軽減するために開始し、現在でも継続的に実施しています。



CHAPTER

05. 高校・大学生のサークル活動

まちづくりを担う人材を地域で育てる

次世代のまちづくりを担う人材を育成するべく、地域の若者グループの主体的な活動を支援しています。具体的には、若者による地域の小中学校教員との交流イベントの企画・運営を支援してきました。また、地域の高齢者の生活をサポートするために、「網戸張り替え隊」、年末に粗大ゴミを搬出する「MONO捨て隊」が活動しています。さらに、2020年10月~12月に実施された「浅香会館」の改装プロジェクトにおいても、若者が活躍しました。



CHAPTER

06. 子育て支援講座等の学習会

子どもの課題を地域で共有する

地域における子ども支援ネットワークを構築することを目的として、小中学校の教職員、子ども支援団体職員、地域関係者、研究者・学生を対象にセミナー・視察を実施しています。

<実績>「子どもの貧困対策連続セミナー」：外国にルーツを持つ子どもの支援などについて
「NPO法人こどもの里」(西成区)視察：親と暮らすことができなくなった青少年への居住支援など



ご寄付のお願い

ご寄付は
こちらから



よさみフェアチルドレンの活動は、皆様からのあたたかいご支援・ご寄付により支えられています。皆様より頂いたご寄付は、よさみフェアチルドレンの様々な活動運営費、子ども食堂の食材などで活用させて頂いております。本活動を継続して発展運営していくために、皆様からのご支援をよろしくお願いいたします。



食料品 を寄付する

賞味期限が迫った食品や、ご家庭で使い切れなくなった買い置き品はありませんか？
そんな食品や調味料などを寄付いただき、本活動にご協力をお願いします。



子ども用品 を寄付する

使わなくなった子ども服や靴、文房具やおもちゃ等の子ども用品を必要なご家庭にお繋ぎします。
皆でつなげる子育て支援の輪・リサイクル活動にご協力お願いいたします。



お金 を寄付する

子どもたちが地域で安心して成長できる「居場所」を維持していくためには資金が必要となります。
いただいた寄付金は幅広く子どもたちのための活動費に充てさせていただきます。



ボランティアのお願い

ご参加は
こちらから



よさみフェアチルドレンの活動は、多くのボランティアで運営されています。本活動の趣旨に賛同いただき、ボランティアとして協力していただける方を募集しています。

随時、見学を受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ

一般社団法人 大阪市よさみ人権協会

☎(06)6697-3331

Mail: yosami@athena.ocn.ne.jp

558-0021

大阪市住吉区浅香2丁目2番57号

子ども専用(よさみフェア・チルドレン)HP:

<https://yosami-hr.com/children/>

大阪市よさみ人権協会HP:

<https://yosami-hr.com>

HP・SNSで日々の活動をチェック

よさみフェアチルドレン



一般社団法人
大阪市よさみ人権協会



yosamifairchildren

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

よさみフェアチルドレン 事業報告書

発行: 一般社団法人 大阪市よさみ人権協会

発行年: 2022年

【共済・連携団体・企業のみなさま】

日本財団

依羅地域活動協議会

浅香振興町会

浅香地区PTA

社会福祉法人 大阪市住吉区社会福祉協議会

社会福祉法人 あさか会

(一財) 海外産業人材育成協会 関西研修センター

あーどぼんくOSAKA

一般社団法人 こどもの居場所サポートおおさか

特定非営利活動法人 暮らしづくりネットワーク北芝

ヨ地区まちづくり合同会社AKYインクルーシブ研究所

大阪公立大学 生活科学部・生活科学研究科

地活隊 チャレンジ会